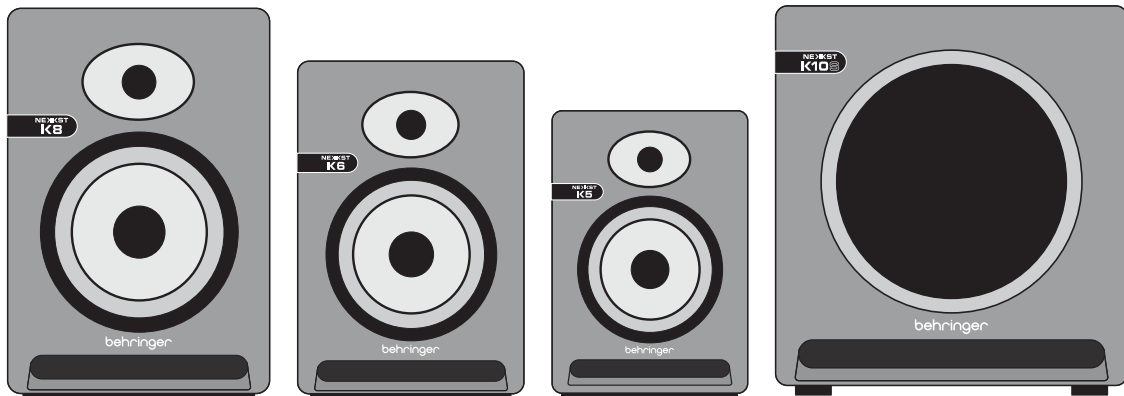




NEKKST

K8/K6/K5

Audiophile Bi-Amped 8, 6, and 5" Studio Monitor with Advanced Waveguide Technology

K10S

Audiophile 10" Studio Subwoofer with High Excursion Woofer

JP

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたできません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蠟燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

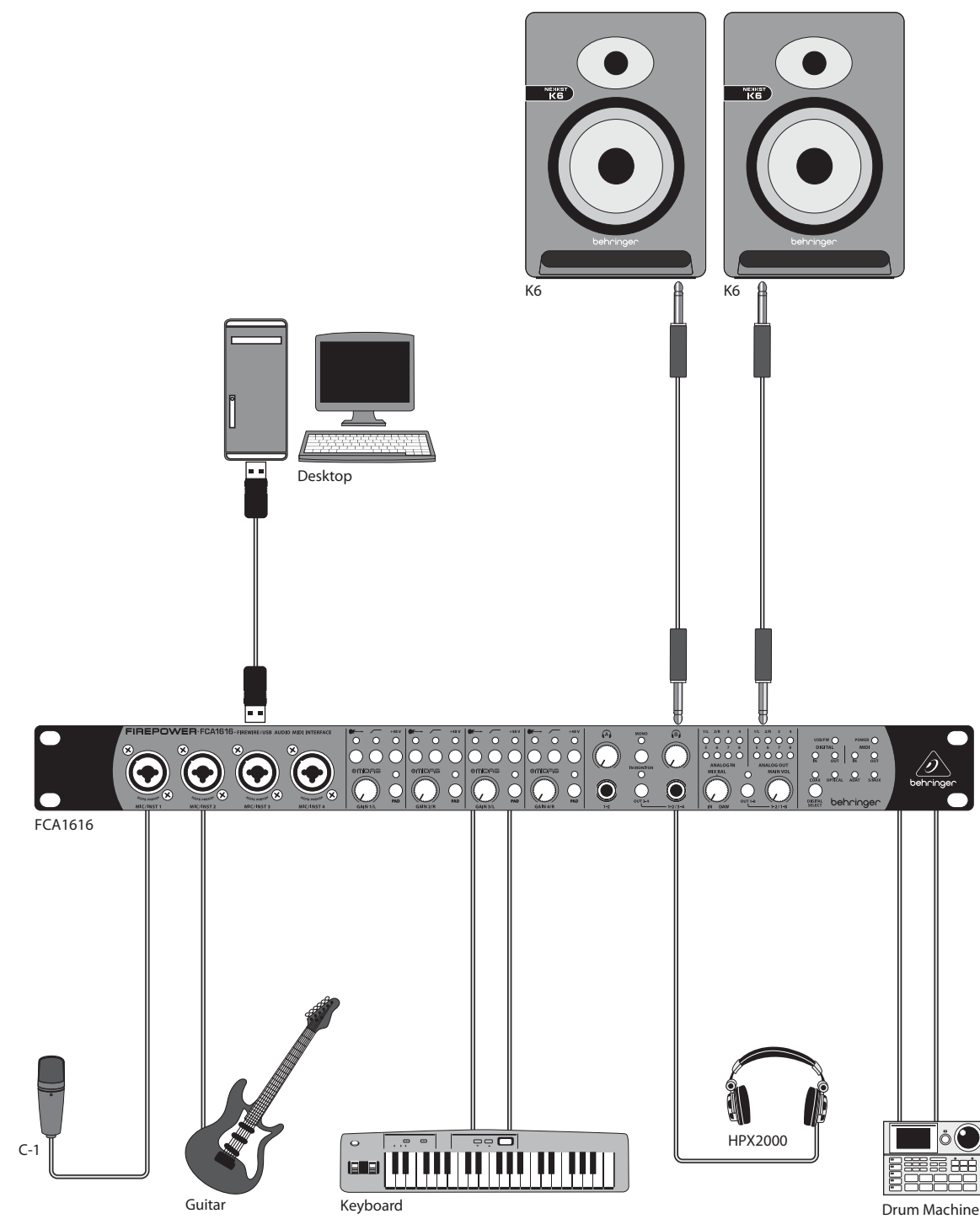
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

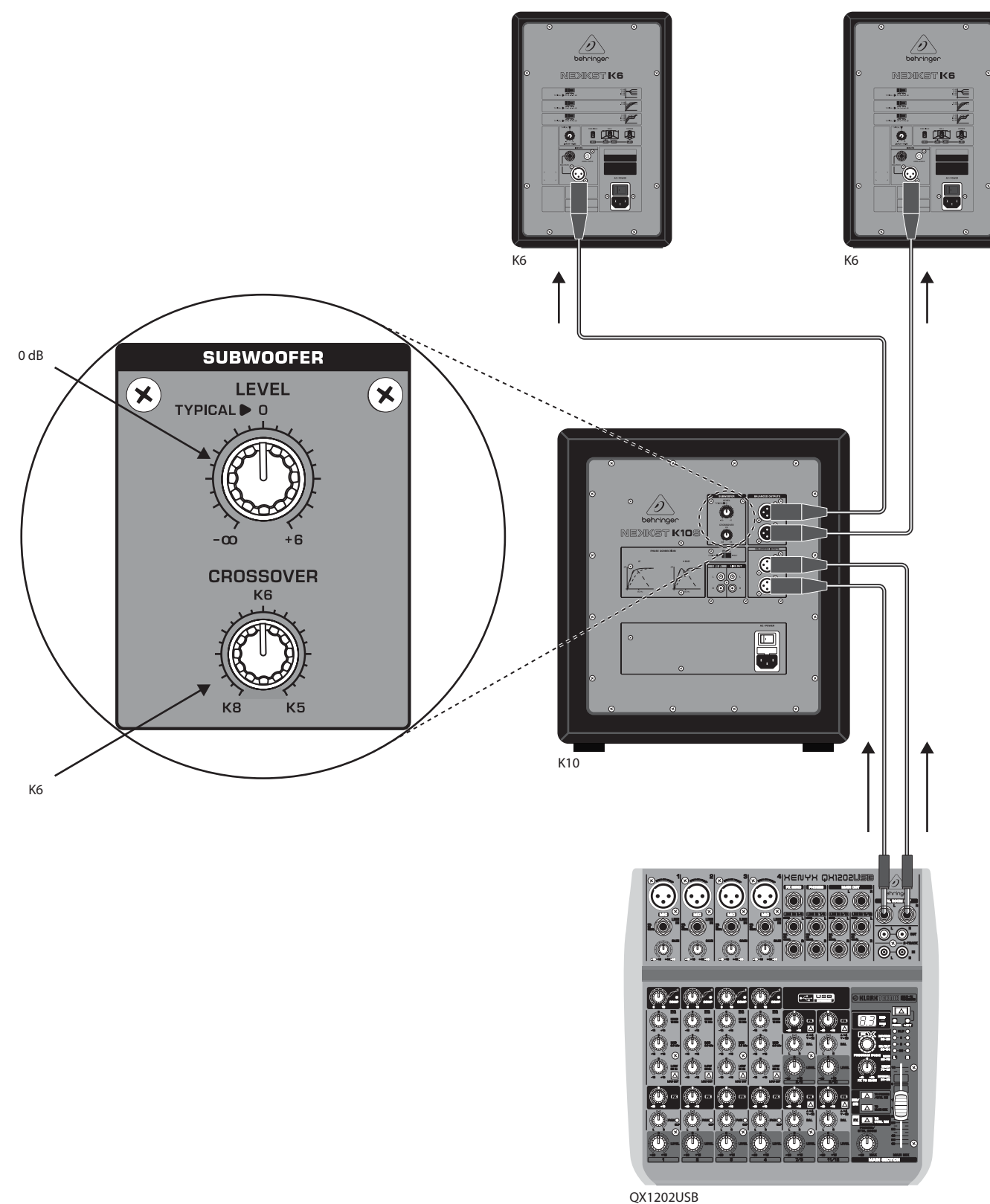
NEKKST K8/K6/K5/K10S フックアップ

ステップ 1: フックアップ

ホーム・スタジオ 1



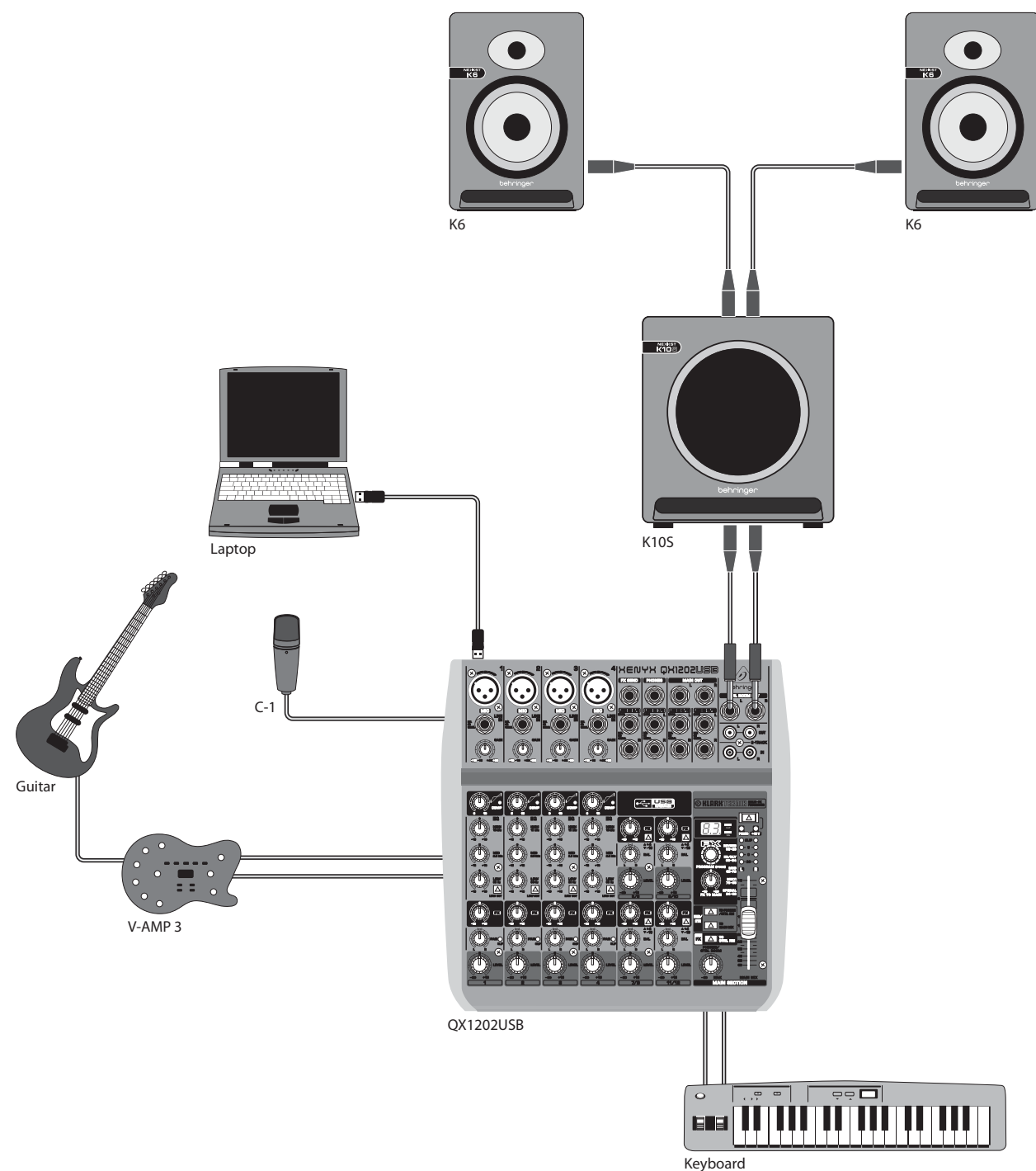
サブウーファー接続



NEKKST K8/K6/K5/K10S フックアップ

ステップ 1: フックアップ

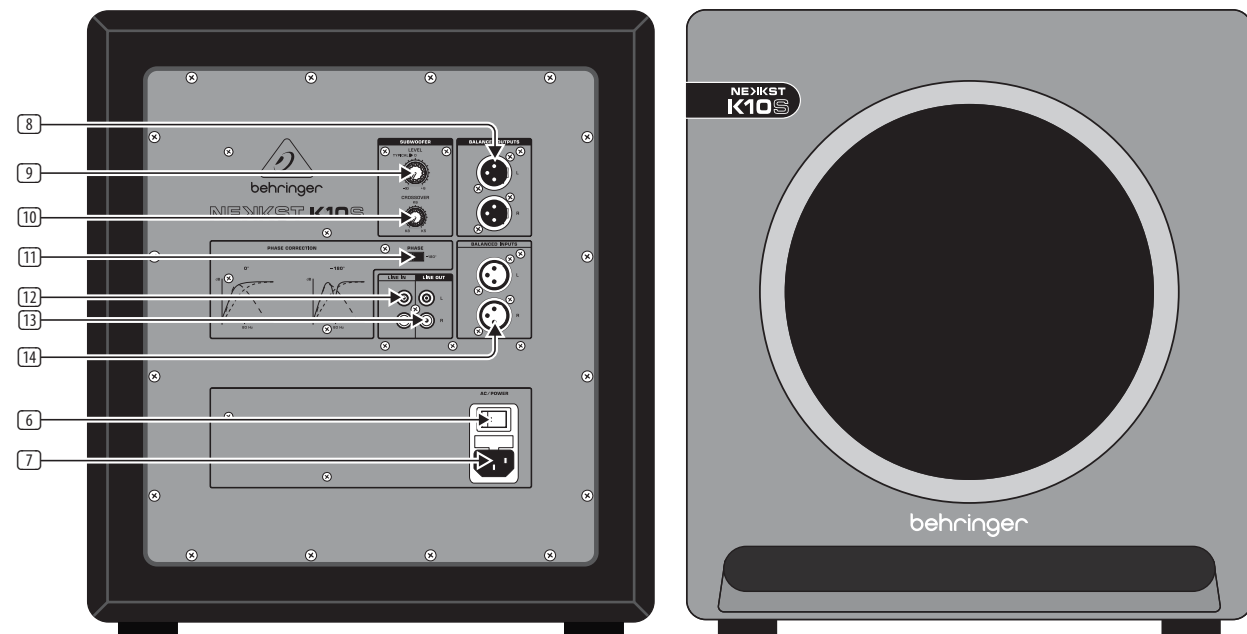
ホーム・スタジオ 2



NEKKST K8/K6/K5/K10S コントロール

JP

ステップ 2: コントロール



K5/K6/K8

- ① **HIGH FREQUENCY** – 室内音響による音の吸収作用を補正します。
- ② **LOW FREQUENCY** – サブウーファーとの併用、または小型スピーカーの特性をエミュレートする際、用途に応じてモニターを切り替えます。
- ③ **ROOM COMPENSATION** – モニター設置環境による補正の必要性に応じ、低域のロールオフをおこないます。
- ④ **INPUT TRIM** – 音源信号に対するモニターの入力感度を調節します。
- ⑤ **INPUT** – XLR, RCA または ¼ インチ・ケーブルのいずれかを使って、音源を入力端子に接続します。
- ⑥ **POWER SWITCH** – ユニットの電源のオン/オフを切り替えます。電源オン時には、フロントパネルのロゴ・ライトが点灯します。
- ⑦ **POWER SOURCE** – 付属の電源ケーブルをこのソケットおよび主電源コンセントに、お使いのモデルに適した方法で接続します。

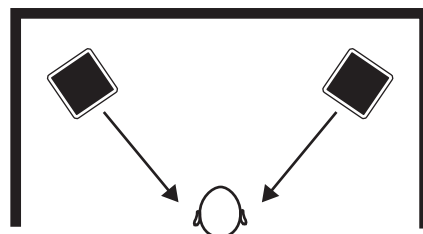
K10S

- ⑧ **BALANCED OUTPUTS** – 各バランス XLR 入力信号の、フルレンジ・コピーを XLR ジャックより送信します。
- ⑨ **LEVEL** – 音源信号に対する、サブウーファーの入力感度を調節します。
- ⑩ **CROSSOVER** – K5, K6 または K8 モニター、またはシステムのその他のスピーカーにマッチするよう、クロスオーバー周波数を調節します。
- ⑪ **PHASE** – 出力位相を反転し、サブウーファーと、モニターまたはその他のスピーカー間の、周波数領域干渉キャンセルを補正します。
- ⑫ **LINE IN** – アンバランス RCA ケーブルを、片方もしくは両方の入力端子に接続し、音源を入力します。サブウーファーは左右の入力信号を合わせた、モノラル信号を再生します。
- ⑬ **LINE OUT** – RCA 入力信号のフルレンジ・コピーを、RCA ジャックより送信します。
- ⑭ **BALANCED INPUTS** – 片方、あるいは両方の入力端子に XLR ケーブルをつなぎ、音源を接続します。サブウーファーは、XLR 入力からの左右の信号を合わせた、モノラル信号を再生します。

NEKKST K8/K6/K5/K10S はじめに

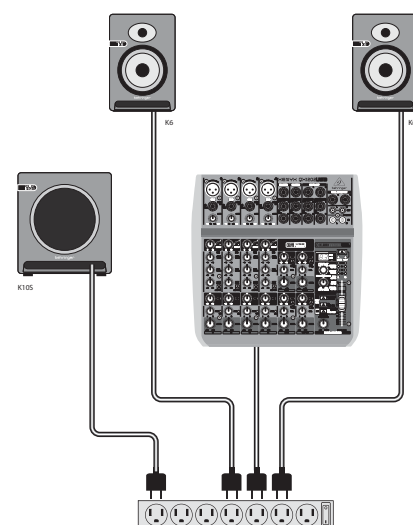
ステップ 3: はじめに

1 モニター・スピーカーを頭の高さに、左右のスピーカーからリスニング位置までの距離を等しく、かつ遮るものが無いように設置します。



2 K10S サブウーファーは、部屋の角や壁際など、色々な設置場所をお試しください。

3 付属の電源ケーブルを各モニターに接続します。ケーブルのもう一方の端を、お使いのモデルに指定されている方法で、主電源コンセントに接続します。この時はまだ電源をオンにしないでください。できればすべての機器を同じコンセントに接続すると、グラウンド・ループを回避できます。



4 音源をモニターおよびサブウーファーの入力端子に接続します。ミキサーに接続する場合は、ミキサーのバランス出力が推奨です。FCA1616などのインターフェイスを使用して、コンピューターのオーディオ出力との接続が可能です。詳しくは接続例をご参照ください。

5 音量が完全に下がっている状態で、ミキサー、コンピューター、その他音源の電源をオンにします。

6 背面パネルの電源スイッチで、モニターとサブウーファーの電源を入れます。

7 各モニター背面の入カトリム・ノブを、中央位置 (0 dB) に合わせます。

8 K10S サブウーファーは、レベル・ノブを中央位置 (0 dB) に合わせます。クロスオーバー・ノブを、K5, K6 または K8 モニターそれぞれに合わせ、調節します。

9 音源の再生を開始し、快適なリスニング・レベルまで徐々に音量を上げます。良いバランスでお楽しみいただくには、必要に応じて、モニターの入カトリム・ノブとサブウーファーのレベル・ノブを調節してください。

技術仕様

	K8	K6	K5	K10S
アンプ				
最大出力電力	150 W *			300 W *
構成	バイアンプ			単核症
タイプ	クラス D			
過負荷保護	デュアルコントロールリミッター			制御されたりミッター
クロスオーバータイプ	アクティブ			
クロスオーバー頻度	3 kHz 固定		3.2 kHz 固定	40~150 Hz 可変
オーディオ接続				
入力	1 x XLR、バランス型 1 x ¼" TRS、バランス型 1 x RCA、アンバランス型			2 x XLR バランス入力 2 x XLR バランススルー出力 2 x RCA アンバランス入力 2 x RCA アンバランススルー出力
最大 入力レベル	14 dBu			20 dBu
コントロール				
ボリューム	該当なし			-∞dB~10 dB
入力トリム	-6 dB~ +6 dB			該当なし
低頻度	0 / -2 / -4 / -6 dB @ 60 Hz、切り替え可能			該当なし
部屋の補償	0 / -2 / -4 / -6 dB @ 300 Hz、切り替え可能			該当なし
高周波	0 / +2 / -2 / -4 dB @ 8 kHz、切り替え可能			該当なし
位相補正	該当なし			0 / -180 度
ラウドスピーカーシステムデータ				
タイプ	1" tweeter 8" ウーファー	1" tweeter 6" ウーファー	1" ツイーター 5.25" ウーファー	10" ウーファー
周波数応答	40 Hz~20 kHz		50 Hz~20 kHz	40 Hz~150 Hz
最大 音圧レベル	最大 102 dB SPL @ 1 m	最大 101 dB SPL @ 1 m	最大 100 dB SPL @ 1 m	最大 117 dB SPL @ 1 m
物理的				
エンクロージャー	バツフル: 塗装された射出成形 PC および ABS エンクロージャー: マットブラック PVC ラミネート 15 mm MDF			
グリル	該当なし			粉体塗装亜鉛メッキ穴あきスチールメッシュグリル
電源/電圧 (ヒューズ)				
タイプ	スイッチモード電源			
電圧	100~240 VAC, 50/60 Hz			100~240 VAC, 50/60 Hz (T 2.5 AH 250 V)
消費電力 @ 最大電力 ¹ / ₈	40 W			50 W
主電源接続	標準 IEC コネクタ			
寸法/重量				
寸法 (H x W x D)	393 x 261 x 315 mm (15.5 x 10.3 x 12.4")	340 x 230 x 289 mm (13.4 x 9.1 x 11.4")	288 x 197 x 247 mm (11.3 x 7.8 x 9.7")	394 x 356 x 404 mm (15.5 x 14.0 x 15.9")
重量	8.7 kg (19.2 ポンド)	7 kg (15.4 ポンド)	5 kg (11 ポンド)	17.4 kg (38.4 ポンド)

*リミッターとドライバー保護回路に依存しません

その他の重要な情報

JP

その他の重要な情報

1. **ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
2. **故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
3. **電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You